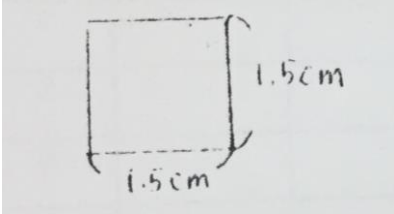
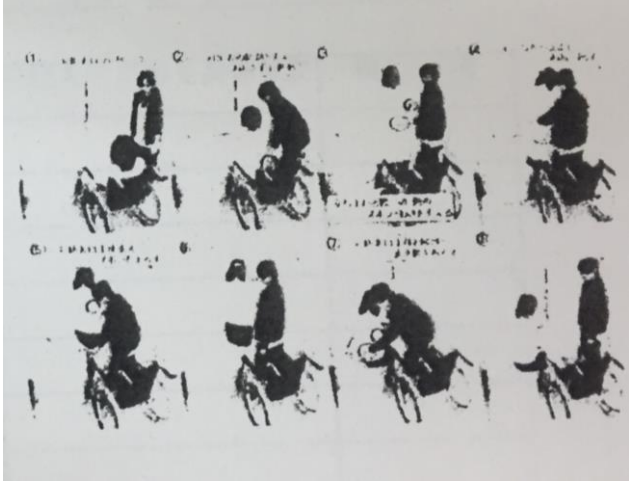


平成 年度 受検者配慮事項確認票(記入例)

受検者氏名() 記載者氏名()

1. 試験問題に関すること	2. 排泄介助などに関すること
<p>① 文字の大きさに配慮が必要。(フォント20ポイント以上が望ましい。)文字を読むことはできるが、代読のほうが理解しやすい。</p> <p>② 解答欄は、1文字1.5cm四方あれば枠内に記入可能である。 (枠)</p>  <p>③ 問題文と解答欄が離れていると、記入間違いや記入の判断ができないことがあるので、問題文と解答欄を一緒にする必要があります。消しゴムで字を消す介助が必要である。</p>	<p>① 排泄時は自己申告できる</p> <p>② 右半身に麻痺があるため、介助が必要である。(女性の介助者1名必要。)介助はパンツ・ズボンの上げ下ろし、便座への移動(足支え出来ない)、便後のお尻拭き。</p> 
3. 自助具の有無、使用している机と椅子の形状、その他	
<p>① 休み時間以外の休憩は特に必要なし。</p> <p>② 水筒を持っていて、本人が必要と感じたときに飲む。</p> <p>③ 学校での学習には、専用の机を利用している。(高さ70cm、幅大きめ)</p> <p>④ 同じ姿勢を続けるのはきつく、試験中に身体を左右に動かすことがある。</p>	

※できるだけ具体的に(図や絵、写真などの添付可)記載してください。